

分野	専門分野	科目名	小児看護学概論
時間	15時間	開講時期	1年次（後期）
講師名	専任教員		
科目目標	1．現代の子どもと家族の状況をとらえ、小児看護の役割と課題を理解できる。 2．子どもにとっての家族とは何かを理解するとともに、家族の特徴とアセスメントの必要性を理解できる。 3．小児各期の成長・発達にかかわる知識について学び、発達の評価方法が理解できる。 4．発達段階各期の子どもの成長・発達、健康、家族、看護について理解できる。 5．子どもと家族を取り巻く社会について理解できる。		
講義形態	①講義・演習		
講義内容			
小児看護の特徴と理念 1．小児看護のめざすところ 2．小児と家族の諸統計 3．小児看護の変遷 4．小児看護における倫理 5．小児看護の課題 小児の成長・発達 1．成長・発達とは 2．成長・発達の進み方（一般的原則） 3．成長・発達に影響する因子 4．成長の評価 5．発達の評価 各期の成長・発達 （新生児・乳児、幼児・学童、思春期・青年期） 1．形態的特徴 2．身体整理の特徴 3．感覚機能 4．運動機能 5．知的機能 6．コミュニケーション機能 7．情緒・社会的機能 8．各期の養育および看護 1) 安全教育・事故予防 2) 遊びの支援 3) 生活習慣の改善・生活習慣病の予防 4) 食事・運動・睡眠 5) 学習 6) 心の問題 7) 飲酒・喫煙 8) 性に関する健康問題 9) 反社会・逸脱行動		家族の特徴とアセスメント 1．子どもにとっての家族とは 2．家族アセスメント 子どもと家族を取り巻く社会 1．児童福祉 2．母子保健 3．医療費の支援 4．予防接種 5．学校保健 6．食育 7．特別支援教育 8．臓器移植	
【テキスト／参考文献】			
医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			